



新成人に2070人

今年の内市の新成人は、男性1049人、女性1021人の計2070人。昭和55年4月2日～昭和56年4月1日に生まれた人が今年8日に成人の日を迎え、晴れて大人の仲間入りをしました。

「はたちの願い」作文 村瀬さんらに優秀賞

市教育委員会が新成人を対象に募集した「はたちの願い」作文・詩に77人の応募がありました。

審査の結果、和泉町の村瀬美智子さんら10人が優秀賞に選ばれました。入選者は次の皆さんです。

〈50音順・敬称略〉

- | | |
|-----------|------------|
| 荒澤智美（大東町） | 一瀬雅子（桜井町） |
| 加藤絵美（箕輪町） | 川村愛子（美園町） |
| 戸田雅之（横山町） | 橋口史子（桜井町） |
| 福富愛弓（里町） | 村瀬美智子（和泉町） |
| 八幡武美（大東町） | 吉田真紀（桜井町） |

昨年の成人式の様子

私の夢

村瀬美智子

私の夢は、介護福祉士になることです。私が福祉の勉強を始めて5年目になります。この5年の間にホームヘルパーや日本赤十字社救急法救急員の資格等を取りました。

今、現在は、国家資格である介護福祉士の免許を取得するため、専門学校に通っています。介護福祉士の免許を取得したら、次は、社会福祉士とケアマネジャーの資格を取得するため、自分で勉強していくつもりです。

私は、介護だけが福祉であるという見方をしてほしくないと思います。特別養護老人ホーム等だけが福祉を求めているわけではありません。私は、今、自分でできること、自分にしかできないことを探して実行しています。

私は、手話の勉強を高校の時からしていたのですが、役に立つような機会がありませんでした。しかし、洋菓子店でアルバイトをしていたときに、聴覚障害者の方が買いに来られました。この時、困っていた様子なので、手話で話しかけてみました。すると、驚いていましたが、手話

で会話をされ、購入され、最後に「ありがとう」と手話でお礼を言われて帰って行かれました。それからは、他の聴覚障害者の方も買いに来られるようになりました。

その時、「福祉の道を選んでよかったな」と思いました。今でも買いに来られます。また、視覚障害者の方も購入できるようにしたいと思い、自分の点字器で、点字メニューを作りました。点字メニューを作っておけば、私がアルバイトを辞めることになっても形として残すことができます。これは現在、ユーストア福釜店のタカラブネに設置してあります。身近なことでも、できることはいっぱいあります。それを精一杯やっていくことのできる人になりたいです。

私は、3月に専門学校を卒業し、4月からは病院で働きます。就職先の病院でも、自分ができること、自分にしかできないことを精一杯やしていきたいです。人を介護することは、とても難しいことですが、自分に一番合っている仕事だと思います。介護福祉士としての自覚、プロ意識を持って働くことができると、今後も勉強を頑張っていきたいと思えます。